妊婦健診の公費助成５回から14回に拡大

妊婦健診の公費助成が公明党の推進で、本年 3 月より 5 回から 14 回に拡大されました。
里帰り受診や助産院での妊婦健診も上限 5,000 円で助成回数が 14 回に拡大されました。また、超音波検査は年齢制限を廃止し、全ての方が一回受診できるようになりました。(3 月 1 日以前に妊娠届けを提出している方については、各健康サポートセンターで母子手帳を持参のうえ、あと 9 枚の受診票追加交付の手続きをしてください。)

区内中小企業を強力に支援！

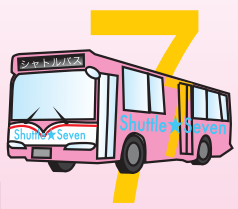
資金繰りを支援するため「特別借換融資制度」の受付を平成 21 年 9 月 30 日まで 6 ヵ月延長！！
〔対象事業者〕区あっせん融資利用者で借換えにより返済負担の軽減が図れる方
〔融資限度額〕既存債務額＋500 万円 (合計 1,250 万円まで)
〔返 済 期 間 〕最長 10 年 (据置期間なし)
〔あっせん利率〕2.6% 以内
〔利 子 補 給 〕本人負担 1.5% を越える分
〔信用保証料〕区が全額助成

環七シャトルバスが本格運行！

区内南北交通の課題を解決するため、「シャトル☆セブン」が好評により、本格運行を開始します。

運賃（大人・片道）
※ 小児は半額です。
※ バス共通カード、PASMO、Suica が利用できます。

亀有駅					
——	JR小岩駅				
200 円	200 円	一之江駅 葛西駅			
200 円	200 円	200 円	葛西臨海 公園駅		
400 円	400 円	300 円	200 円	東京 ディズニーランド	
400 円	400 円	300 円	200 円	160 円	東京 ディズニーシー



他区にはない江戸川区だけの独自施策！

〔学校給食費保護者負担軽減〕給食費の 1 ／ 3 を区が補助。
〔熟年者激励手当〕◎手当額　25,000 円／月
　60 歳以上の在宅者で要介護度 4 または 5 の人
〔乳児養育手当〕◎手当額 13,000 円／月
　乳児（1 歳未満）を養育している家庭に支給（所得制限あり）
〔私立幼稚園等保護者負担軽減補助〕
　幼稚園に在籍する園児の保護者負担を軽減するため、保育料等の補助を行う。入園料補助：80,000 円、保育料補助：月 26,000 円

江戸川区
平成21年度予算可決！

この予算には、これまで区議会公明党が区民生活向上と福祉充実のために強く要望してきた項目を含め、新規・拡充101事業が盛り込まれています。
ここでは、新予算のいくつかをご紹介します。

江戸川区初の校庭芝生化実施へ！

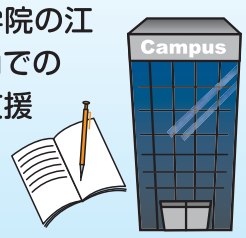
児童 1 人あたりの校庭面積、PTA や地域の協力体制等、条件が整った学校でモデル実施します。
平井第二小学校校庭のトラック内（約 600 ㎡）

(仮称)子ども未来館の建設

旧篠崎図書館敷地、ポニーランドと一体で整備。
平成22年4月オープン予定
□ 1 階：児童書専門の図書館（子どもライブラリー）
□ 2 階：“学び活動”“探求活動”をすすめる基地（子どもアカデミー）

スーパー連携大学院設立支援

国公立・私立大学と企業・行政が連携する「産学官連携の拠点」であるスーパー連携大学院の江戸川区内での設立を支援します。



ファーマーズクラブ（東葛西）の開設

本格的な農業体験希望者に対し、営農者指導のもとに実施します。
〔農園規模〕1 区画 40 ㎡
〔使 用 料〕年　5 万円
〔利用期間〕1 年間（最長 5 年間更新可）

水辺のスポーツガーデン 4月20日オープン！

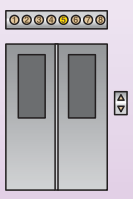
旧江戸川河川敷（東篠崎 2 丁目）少年野球場・ソフトボール場、テニスコート、フットサルコート、多目的広場、ローラースポーツコート、ジョギングコース等。

住宅用火災警報器の設置助成

〔実施期間〕平成 21 年 4 月～22 年 3 月末
〔対象〕60歳以上の熟年者・障がい者のみで住民税非課税世帯（都住・公団居住者は除く）
〔助成内容〕住宅用火災警報器（寝室用煙探知器）
1 個 /1 世帯

公共施設にエレベーターの設置

西小岩、篠崎コミュニティ会館、鹿骨区民館フラワーホール、上一色コミュニティセンター、小松川健康サポートセンター、京成小岩駅(改札階～ホーム)に 2 基設置



緊急一時保育事業スタート

◎緊急一時保育事業：区立保育園全園で 4 月より、保護者の疾病、入院、出産など緊急やむを得ない事由の時に対応します。
◎一時保育事業：区内私立保育園 4 園で 4 月より 2 園で 6 月より、保護者の通院、親の介護、育児疲れの解消などに対応します。

学校耐震化

船堀第二小、下鎌田東小、二之江第二小、一之江小、鹿骨小、二之江中で耐震補強工事を実施。平成 22 年度に 3 校の耐震補強工事を行い、区内全小中学校の耐震化が全て完了！

介護サポーター育成・支援

65 歳以上の元気な熟年者を対象に介護サポーターを育成し、介護施設での支援活動等を行い、ポイント化し介護保険料に活用出来るようにします。